

ちばの地域福祉

平成28年度の事業計画

千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

1. 事業活動の目標

1) 時代の変化に対応できる相談支援体制作りを進める

量的変化（相談件数の増加）・質的变化（複合的な課題のある家庭・さまざまな生きづらさを持つ高齢者・子どもの貧困・触法者の出所後の支援・発達障がいや引きこもり等）といった支援対象の拡大に対応できる支援体制を整えなければなりません。各センターにおいては様々な困難があることは承知していますが、中核連協として取り組まなければならない課題として、以下のことを掲げその解決に向けて実践していくこととする。

① 定例会のあり方の見直し

- ・各センターの課題を共有し、業務のレベルアップに資する活動のための研究討議を行う。
- ・上記の目的を達成するための取り組みとして、月毎にセンター持ち回りで課題を提案し討議を行うことを定例会の中に位置づけることとする。
テーマはそれぞれのセンターの課題、相談支援に関する諸課題、職員の育成・研修に係ること、支援活動に係る行政他機関との連携作りに関すること等を取上げ討議を行う。
- ・これらを踏まえて中核センター例会の内容を以下のように再構築したい。

ア、定例的事項

○行政説明

○協議事項

- ・各センターの同意を要すること
- ・その時々協議・検討を要すること

○報告・連絡事項

- ・各委員会活動報告・諸会議等参加報告

イ、課題検討会

- ・月毎にあらかじめ設定されたテーマに従い研究討議を行う

② 「障害者差別解消法」の実効性を上げるための取り組み

4月1日より「障害者差別解消法」が施行されます。中核センターにおいては、この法の趣旨を踏まえ権利擁護推進の視点から、理解促進のために地域に向けた啓発に努めていかなければならないと同時に、私どももこの法に則った支援に努める。

ちから ちばの福祉力・社会資源

聴覚障害者の自立・自助への支援

社会福祉法人 千葉県聴覚障害者協会
理事長 植野圭哉

本千葉駅から徒歩5分、京成千葉中央駅から徒歩7分のところに（社福）千葉県聴覚障害者協会が運営する千葉聴覚障害者センターがあります。

当法人は、平成18年法人認可を受け平成19年民設民営の聴覚障害者情報提供施設として開所。手話通訳者・要約筆記者等の派遣や人材育成を始め、相談事業や相談支援事業、介護関係事業・地域活動支援センター、就労継続支援B型、グループホーム運営など、聴覚障害に関する総合支援センターとして、多機能型の支援事業、啓発活動を進めながら、聴覚障害者の自立自助につなげるための支援をしています。

聴覚障害者に必要な情報コミュニケーション支援である手話通訳・要約筆記派遣は、医療・教育・労総・司法など多分野にわたり派遣件数は年間約6千件に上りますが、しかし、その派遣は障害者総合支援法の地域生活支援事業に依拠し、派遣の可否が地域行政の判断になるため、地域格差、地域バリアが人権格差として大きな問題になっております。また聴覚障害当事者のニーズも多様化・複雑化しており、手話通訳や要約筆記などの意思疎通支援だけでは解決しない事例も多く、とりわけ、ピア（同じ聴覚障害者）の相談支援専門員の存在が不可欠になっていることが近年の特徴でもあります。

聴覚障害者といっても、ろう者、中途失聴者・難聴者、盲ろう者、ろう重複障害者、高齢ろう者、と分類され、その聴覚障害者の失聴時期、言語獲得や教育環境、育成歴、コミュニケーション環境、それら背景からくる心理的側面が複雑に絡み合っております。聴覚障害の支援の難しさは、情報が入らない、コミュニケーションができない、という意思疎通の困難さだけではなく、更に他者との関係を築くことが困難な二次的障害を引き起こし、極めて深刻な状態になっていることが、一般には気づきづらい面があることです。

特に手話を使用するろう者は、手話の言語集団社会の存在がその人のアイデンティティや社会参加の上で最も重要なキーワードとなることからそれらも含めてその聴覚障害者の背景を熟知した上で、丁寧な相談と援助の見極めが重要となります。

これは当センターが有する専門性の部分と言えるかと思えます、同時に、問題解決のためには、医療、司法、学校 行政等様々な社会資源との連携ネットワークもまた重要な要素となります。相談の専門家集団でもある中核地域生活支援センターはその重要な社会資源の一つであり、いろいろ相談に乗っていただいております。

今後もこのすぐれた仕組みを更に機能的に生かしていただくことを願うと共に、聴覚障害者からの相談ケースについては、聴覚障害の専門機関として、当センターとの連携していただき、それぞれの機能を生かしつつ、相互にネットワークを密にしながら、人や社会を支える一翼を担ってきたいと考えております。

ちば・元気印！～こんなひとたち、見つけた～

NPO 法人 ほっとすぺーす・つき

今回は、誰もが安心して立ち寄れる「居場所」やひきこもりの方への「支援」など、制度の枠を越えた活動を佐倉市で行っている「ほっとすぺーす・つき」さん取材してきました！

円柱で光の差し込む明るいガラス張りの建物が目を引きまします。「つき」という名前の由来を理事長で社会福祉士の田代和美さんからお聞きしました。

「太陽の明るさが眩しすぎると感じる時…心が少し元気がない時…そんな時は、月あかりがちょうどよくて、ほっこり落ち着ける時ってありませんか？月は形もいろいろ…三日月も満月もどれもいい…人も無理せず、そのままの自分でいいんです…」

多様な活動をされており、すべてをご紹介できないのですが、今回は特に力を注いでいる「居場所」と「ホームスタート・さくら」にてご活躍されている方々をご紹介します。



①居場所



居場所担当者の吉川将司さん

居場所担当者である吉川将司さんにお話をお聞きしました。

吉川さんご自身がひきこもりの期間が16年間あり、その経験から「人を価値判断しない、否定しない、受け止める…」「ありのままのその人を認める」これを大切にして、「つき」に来てくれた方にほっとできる空間づくりをしているそうです。「ほっとすぺーす・つき」は平日毎日の開放にこだわり、「ここに来れば話せる人がいる」をコンセプトにしています。居心地のよい場所、安心できる時間を共有してほしいとのことでした

吉川さんのお話は、月あかりのように優しくゆったりとした気持ちにさせていただきました。

②ホームスタート・さくら

新規事業として準備中の「ホームスタート・さくら」の高野富佐代さんと泉宏子さんにお話を伺いました。「ホームスタート」はイギリスが発祥で、研修を受けたボランティアが6才以下の子どもがいる家庭を訪問して傾聴し、親に寄り添って支援する「家庭訪問型子育て支援」活動です。慣れない育児に悩みを抱えがちな親たちを支援します。

高野さんと泉さんは、「お母さんの気持ちが楽になり子育てが楽しくなるよう少しでもサポートできれば…千葉県ではまだ3か所（浦安市、野田市、佐倉市）しかないの、この活動をどんどん他の地域にも広めていきたい」との熱い思いをお話して下さいました。



泉宏子さん(左)と高野富佐代さん(右)

これらの活動以外にも、メンタルフレンド派遣事業や認知症予防、こどもの学習支援、大人の寺子屋など、幅広く活動されている「ほっとすぺーす・つき」さん。ホームページで詳しい情報を見ることができます。是非、検索してみてください！！

NPO 法人ほっとすぺーす・つき

住所：佐倉市稲荷台 1-17-1 2階 ホームページ：<http://hottospace.com>

「ほっとすぺーす・つき」、「居場所」についてのお問合せ先⇒電話：043-235-8008

「ホームスタート・さくら」についてのお問合せ先⇒電話：070-4039-7360



ちば・地域発 ～県内ア・ラ・カルト～

障害者（児）福祉施設新任職員研修

～新任職員としての姿勢・心得とは？～

- 【日 時】** 平成28年6月10日（金）10：00～16：00
【会 場】 千葉県社会福祉センター5階 大研修室（千葉市中央区千葉港4-3）
【内 容】 新任職員としての心得と基本的知識の習得をめざします。
【対 象】 障害者（児）施設等に従事する新任職員
【プログラム】 受 付（9：20～9：50）
オリエンテーション（9：50～10：00）
[講義]：「障害者（児）を取り巻く現状と課題について」（10：00～12：00）
昼食・休憩（12：00～13：00）
[講義・演習]：「新任職員に必要な心得とは」（13：00～16：00）
[研修講師]：こども発達支援センター そらいろ センター長 中島 展 氏
【定 員】 60名（先着順） **【費 用】** 一人 5,000円（当日受付にてお納めください。）
【お問い合わせ先】 千葉県社会福祉協議会 社会福祉研修センター
TEL：043-241-5120

※当日会場には駐車場がありません。自動車での来所はご遠慮ください。

NPO法人KHJ千葉県なの花会 設立12周年記念講演会

「ひきこもり支援から見えた地域福祉の可能性」

～ひきこもり者の力を町づくりに～

- 【日 時】** 平成28年6月18日（土）13：30～16：30（開場13：10）
【会 場】 千葉市民会館 小ホール（千葉市中央区要町1-1）
【内 容】 千葉県に「なの花会」が設立されて12周年を迎えることができました。
これを記念し、藤里町社会福祉協議会菊池まゆみ先生をお招きして、皆様とご一緒に考えてみたいと思います。わが子がひきこもりで悩む親御さんをはじめ、たくさんの方々の参加をお待ちしております。
[挨拶]：池田 佳世 NPO法人全国引きこもりKHJ親の会（家族連合会）代表
[講 師]：菊池 まゆみ 先生（秋田県藤里町 社会福祉協議会 会長）
【お問い合わせ先】 **【入場料】** 一人 1,000円
NPO法人KHJ千葉県なの花会事務局（070-2191-4888）
ホームページ：<http://www.khjchiba.org/nanohanakai2003/>

発行元：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

事務局：夷隅ひなた（夷隅圏域）いすみ市大原8927-2

TEL:0470-60-9123

FAX:0470-60-9124

編 集：君津ふくしネット（君津圏域）富津市青木2-16-14

TEL:0439-27-1482

FAX:0439-88-1481

※内容についてのお問い合わせは、君津ふくしネット（担当：玉手）までお願いします。